

2026 年 7 月 30 日
株式会社ビーエムジー

コーポレートブランド刷新のお知らせ

— 「継承」と「進化」を象徴する、新しいコーポレートブランドへ —

株式会社ビーエムジー（本社：京都市南区、以下「当社」）は、2026 年 7 月 30 日付の新経営体制への移行にあたり、コーポレートブランドを刷新いたしました。当社は、創業以来受け継いできた材料技術と理念を礎としながら、細胞保存・再生医療をはじめとする未来医療の領域へと事業を広げ、未来医療を支えるインフラを担う企業として、新たな成長ステージへと歩みを進めてまいります。本刷新は、この決意を社内外に明確に示すものです。これに伴い、新しいブランドロゴの使用を開始いたしましたので、このたびお知らせいたします。



ブランド刷新の背景

当社は 1983 年の創業以来、京都大学における高分子化学の基礎研究を源流として、生体吸収性ポリマーを基盤とする医療材料の研究開発・製造に取り組んでまいりました。2025 年 3 月には、デキストランを基盤とする吸収性組織補強材「ライデックス シーラント（LYDEX Sealant）」が高度管理医療機器（クラスⅣ）としての製造販売承認を取得し、大学発の基礎研究を医療現場で用いられる製品へと結実させる、社会実装の一つのかたちを示しました。

近年、当社は長年培ってきた高分子材料技術を基盤としながら、細胞を 4℃で保存する技術をはじめとする細胞保存・再生医療関連分野へと研究開発の裾野を広げ、医療材料の企業から、再生医療をはじめとする未来医療の社会実装を支える「未来医療インフラ」を担う企業へと、進化を続けています。

こうした事業領域の広がり、新たな経営体制のもとで次の成長段階へ踏み出す当社の姿勢を、一つの象徴として明確に示すため、このたびコーポレートブランドの刷新を行うことといたしました。創業以来受け継いできた技術と価値観を土台としながら、未来医療インフラ企業として歩みを進める決意を、新しいブランドに込めています。

新しいブランドロゴについて

新しいブランドロゴは、創業以来受け継いできた価値観の「継承」と、未来医療へ挑む「進化」という、当社の二つの意志を一つのかたちに象徴するものです。社名の由来であり創業家の姓でもある「玄」の一字に込められた奥深さ・根源・静けさを核としながら、装飾を削ぎ落とした簡潔な字形と十分な余白によって、これからの当社が向かう先を静かに示しています。

配色は、揺るぎない基盤と継承を示す「玄黒（Gen Black）」を主体とし、革新と進化への意志を示す「朱（Cinnabar）」、清廉さと余白を示す「京白（Kyoto White）」の三色で構成しています。

適用開始時期および適用範囲

新しいブランドロゴは、2026年7月30日より使用を開始しております。Webサイト、会社案内、名刺、封筒等の各種印刷物、および製品関連資料等につきまして、順次切り替えを進めてまいります。

なお、製品パッケージおよび添付文書等の表示につきましては、既存在庫の状況および関連手続きを踏まえ、順次切り替えを行う予定です。本ブランド刷新に伴い、当社製品の承認内容、品質、仕様および供給体制に変更はございません。

今後の展望

当社は「継承と進化」を経営の基本姿勢に掲げ、創業以来培ってきた材料技術と品質へのこだわりを次世代へ受け継ぐとともに、細胞保存・再生医療をはじめとする未来医療の領域で挑戦を続けてまいります。今回のブランド刷新を新たな出発点とし、「未来医療を、制約から解放する。」というミッションのもと、独自の材料技術を通じて医療の可能性を広げ、未来医療を支えるインフラ企業として社会に貢献してまいります。

株式会社ビーエムジーについて

当社は、1983年に創業した京都大学発のバイオマテリアルベンチャーです。創業以来、生体吸収性ポリマーをはじめとする独自の材料技術の研究開発・製造を通じて、大学発技術の社会実装に取り組んでまいりました。近年は、細胞保存技術をはじめとする再生医療関連分野へと事業領域を広げ、独自の材料技術を基盤に、未来医療を支えるインフラの実現を目指す企業として歩みを進めています。

会 社 名	株式会社ビーエムジー（BMG Inc.）
所 在 地	京都市南区東九条南松ノ木町 45 番地
代 表 者	代表取締役社長 玄 優基（げん ゆうき）
設 立	1983 年 6 月 28 日
事業内容	生体吸収性医療材料の研究開発・製造・販売
U R L	https://www.bmg-inc.com/

本件に関する報道関係のお問い合わせ先

株式会社ビーエムジー 総務グループ

TEL: 075-681-0787 E-mail: genaff@bmg-inc.com